

学校教育目標

豊かな学力と心豊かでたくましい社会性を身に付けた生徒の育成
自他共栄 ～互いに高めあう学校づくり～

生徒の実態①（学力調査の結果より）

- ・基礎基本の定着が不十分である。
- ・自分の考えを記述する問題では、無回答率が多い。
- ・必要な用語が抜けてしまう傾向が、一部に見られる。
- ・文章や出題者の意図を的確に読み取り、論理的に表現する力に課題が見られる。
- ・家庭学習の習慣が定着していない。
- ・学校から出る課題以上の学習に、なかなか取り組めていない。

生徒の実態②（生徒質問紙調査分析より）

- ・授業は大切だと思っている生徒は、全体の80%～90%である。
- ・授業は大切だと思っている意識はあるものの、その教科を好きになれないと考えている生徒が目立つ。
- ・自分で考えて学習に取り組むことが苦手である。
- ・指名されたら答えるが、うまく伝わるような工夫や、自信をもって表現できていない現状が見られる。

研究主題

考え、高めあい、表現する生徒の育成

研究の重点

- ① 「自ら考え、生徒同士が高めあう姿」とは何かを、職員全体で共通理解し、実践する。
- ② 道徳科の学びを各教科の指導に生かす。
- ③ 生徒たちが「自らのやり方で表現する姿」とは何かを、次年度へ向けて検討していく。

一人一人の生徒を、全教科で育てる

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	英語
----	----	----	----	----	----	----	-----	----

校内研修会（全体会）

教科部会（年に6回程度実施）

- ・学力調査等の採点→分析→検証
- ・相互授業参観を実施し、生徒理解や授業力向上を目指す

学年会

- ・生徒の実態把握→学年の学習指導
- ・特別な教科「道徳」および総合的な学習の時間、特別活動等のキャリア教育の推進

傾聴三原則

- ① うなづく（話す人に目を向ける・リアクション）
- ② あいづち・驚き
- ③ 賞賛（拍手など）